

# 平成 27 年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金 (設備の高効率化改修支援モデル事業) 2次公募

■一般社団法人温室効果ガス審査協会は、モーターやポンプ、変圧器などの設備の高効率化を目的とした改修に対する補助事業を公募している。

■補助対象となるのは、国内で現在稼働中の償却資産登録された設備の改修で、具体例となる 2 つの下表のどちらか、または両方の改修を行うことにより、当該設備のエネルギー効率向上・省エネ化・二酸化炭素削減につながる事業。

■なお、下表は一例であり、この条件にあてはまれば、その他の部品や部材も交換や追加が可能。それらを実施した設備を稼働させるのに必要なメンテナンスなども含まれる。

## 1 補助対象事業

### ① 部品・部材の交換の例

対象部品・部材	概要	対象の要件
モーター・コンプレッサー・ポンプ・ファン	空調設備や冷凍設備等で利用されているモーター、コンプレッサー、ポンプ、ファン等を高効率なものに交換する。(※コンプレッサー等のモーターのみを交換するものも含む)	モーターについては、効率が IEC 規格(国際電気標準会議)で規定される効率クラス IE3(プレミアム効率)と同等以上のもの、若しくは回転子に永久磁石を用いるもの。
タービン	発電機などのタービンの部品を交換して低下した効率を改善する。	
ファンベルト及びファンベルトドライブシステム	空調機などに使用しているファンベルト及びファンベルトドライブシステムを、動力伝達損失が軽減できるものに交換する。	
熱交換器	(1) 熱交換器をより高効率なものに交換する。 (2) 熱交換器の部品を交換及び洗浄して設置時の効率に戻す。	
バーナー	ボイラーや加熱炉等で利用されているバーナーを交換して効率を改善する	
変圧器	受変電設備等で利用されている変圧器を効率の良いものに更新することにより電力の消費量を削減する。	

### ② 部品・部材の追加の例

対象部品・部材	概要	対象の要件
断熱ジャケット	蒸気配管やバルブにジャケット式の断熱カバーを設置する。	JIS A1412 の熱伝導率が 0.05W/m・K 以下の断熱材を用いたもの。
断熱パネル	冷凍・冷蔵・製氷設備に、断熱パネルを設置する。	JIS A1412 の熱伝導率が 0.05W/m・K 以下の断熱材を用いたもの。
インバーター	空調機や送風機、各種ポンプ等に、インバーターを付加する。	※インバーターが組み込まれた給水ユニットへの更新のように、設備一式を交換する場合は対象外とする。
熱交換器	空調設備、乾燥設備、蒸気供給設備、温水供給設備等に熱交換器を設置する。	

なお、応募にあたっては、上記①、②ともに、当該設備メーカーや当該設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等、外部の専門家による省エネルギー効果の説明等を添付する必要がある。

【注意】

- 製造業（加工修理業含む）、電気業、ガス業又は熱供給業の生産設備や、自動車整備工場、機械等修理工場、その他これに類する施設は対象外。
- 器具備品（パソコンや自動販売機等）や架電に類するもの、BEMS・デマンドコントローラー・センサーなどの稼働時間の調整等で省エネを達成するもの、照明設備、などは補助対象外。

2 公募期間 平成 27 年 7 月 1 4 日（火）～平成 27 年 8 月 1 1 日（火）

3 対象者 民間企業、独立行政法人、一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人、等

4 補助率 ・資本金 1, 000 万円未満の民間企業の場合：3分の2  
・資本金 1, 000 万円以上の民間企業の場合：2分の1  
【備考】 予算総額：5 億円（事業費全体）、1 件あたりの補助上限額なし

5 その他 事業期間は補助金の交付決定日から平成 28 年 2 月 29 日まで。  
採択事業者は、事業終了後、約 3 年の二酸化炭素削減効果に関する事業報告書を毎年度ごとに提出することが必要。

6 補助金執行機関 一般社団法人 温室効果ガス審査協会 ASSET 事業運営センター事業部  
<http://www.gai.or.jp/eie/2015/rule/index.html>